

2022年2月12日（土） 日本社会福祉学会フォーラム

**中国四国地域の高齢者介護施設における福祉
人材定着のための多面的な運営管理の研究**

高知県立大学 社会福祉学部

河内 康文

報告の構成

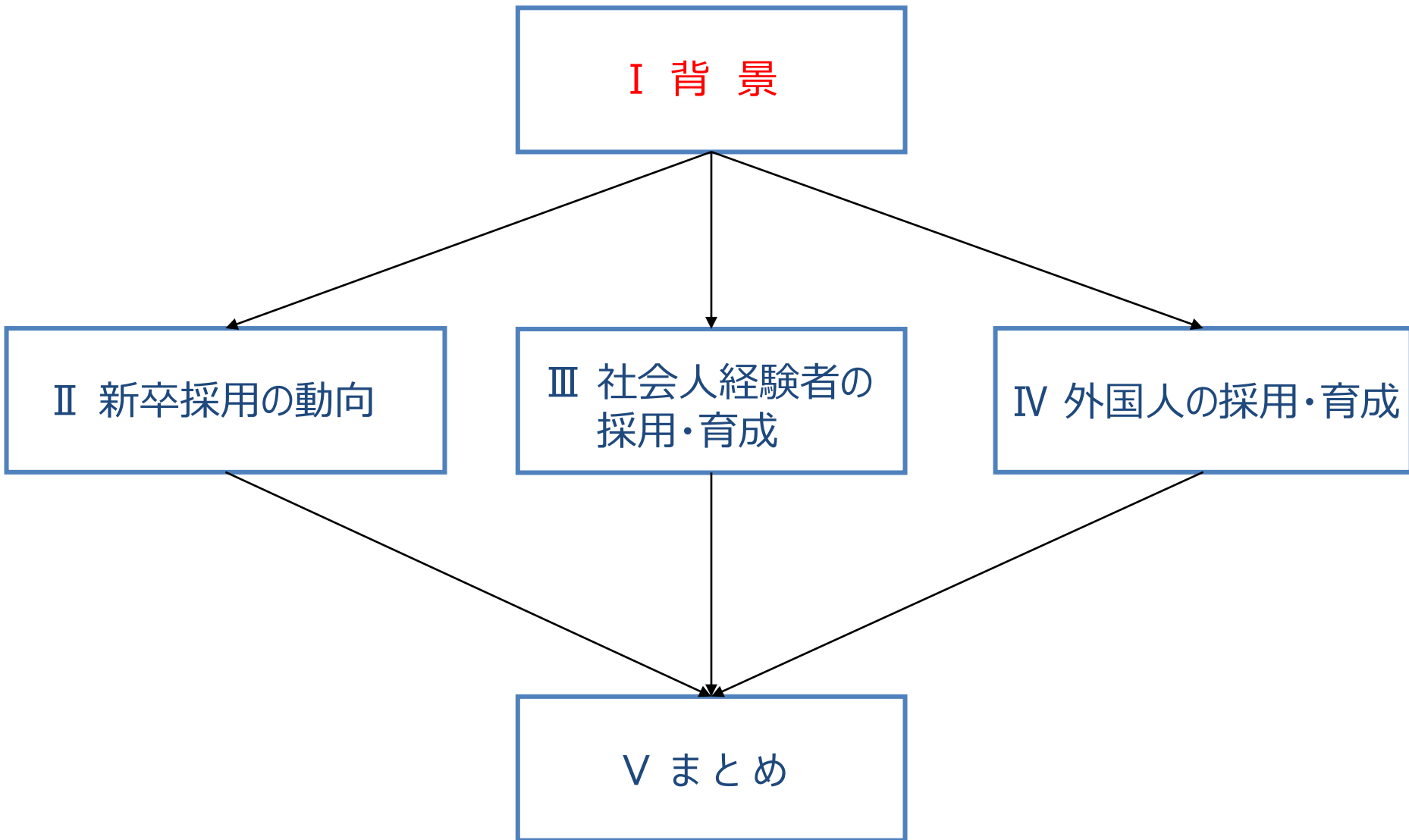
I 背景

II 新卒採用の動向

III 社会人経験者の
採用・育成

IV 外国人の採用・育成

V まとめ



総合的な介護人材確保対策

介護職員の 処遇改善

- リーダー級の介護職員について他産業と遜色ない賃金水準を目指し、総額2000億円(年)を活用し、経験・技能のある介護職員に重点化した更なる処遇改善を2019年10月より実施

※令和3年度介護報酬改定では、介護職員の人材確保・処遇改善等にも配慮し、改定率を+0.70%とするとともに、更なる処遇改善について、介護職員間の配分ルールの柔軟化を実施。

(実績)月額平均7.5万円の改善

月額平均1.8万円の改善(令和元年度～) 月額平均1.4万円の改善(29年度～) 月額平均1.3万円の改善(27年度～) 月額平均0.6万円の改善(24年度～) 月額平均2.4万円の改善(21年度～)

多様な人材 の確保・育成

- 介護福祉士修学資金貸付、再就職準備金貸付による支援
- 中高年齢者等の介護未経験者に対する入門的研修の実施から、研修受講後の体験支援、マッチングまでを一体的に支援
- ボランティアポイントを活用した介護分野での就労的活動の推進
- 他業種からの参入促進のため、キャリアコンサルティングや、求職者向け職業訓練の訓練枠の拡充、訓練への職場見学・職場体験の組み込み、訓練委託費等の上乗せ、訓練修了者への返済免除付きの就職支援金の貸付を実施
- 福祉系高校に通う学生に対する新たな返済免除付きの修学資金の貸付を実施
- 介護施設等における防災リーダーの養成

離職防止 定着促進 生産性向上

- 介護ロボット・ICT等テクノロジーの活用推進
- 介護施設・事業所内の保育施設の設置・運営の支援
- キャリアアップのための研修受講負担軽減や代替職員の確保支援
- 生産性向上ガイドラインの普及
- 悩み相談窓口の設置、若手職員の交流推進
- ウィズコロナに対応したオンライン研修の導入支援、副業・兼業等の多様な働き方モデル事業の実施

介護職 の魅力向上

- 学生やその保護者、進路指導担当者等への介護の仕事の理解促進
- 介護を知るための体験型イベントの開催
- 若者層、子育てを終えた層、アクティブシニア層に対する介護職の魅力等の情報発信
- 介護サービスの質の向上とその周知のため、ケアコンテストの取組を情報発信

外国人材の受 入れ環境整備

- 介護福祉士を目指す留学生等の支援(介護福祉士修学資金の貸付推進、日常生活面での相談支援等)
- 「特定技能」等外国人介護人材の受入環境整備(現地説明会等による日本の介護のPR、介護技能向上のための集合研修、介護の日本語学習支援、介護業務等の相談支援・巡回訪問の実施等)
- 送出し国への情報発信の拡充等

※下線部分は令和3年度予算における新規事業

人材不足への対応の基本

○採用の増加=入口対策（多様な人材の採用）

○離職の防止=出口対策

○ICT・ロボットによる業務効率化

職場
環境
の重要性

人口減少社会

- 日本の総人口は 約1億2500万人
- 子どもの数が40年連続減少
 - ※出生数 2016年に100万人を割り込む（死者 約130万人）
 - ※出生数 2019年に90万人を割り込む（死者 約138万人）
- コロナ禍で出生数はさらに急落
- 2019実績値で東京、沖縄、埼玉、神奈川、愛知、滋賀、千葉は増えているが、その他40都道府県は減少（総務省 2021）
- 経済活動の担い手となる生産年齢人口は5年でおおよそ226万6000人の減少（日本経済新聞 電子版 2021/11/30）

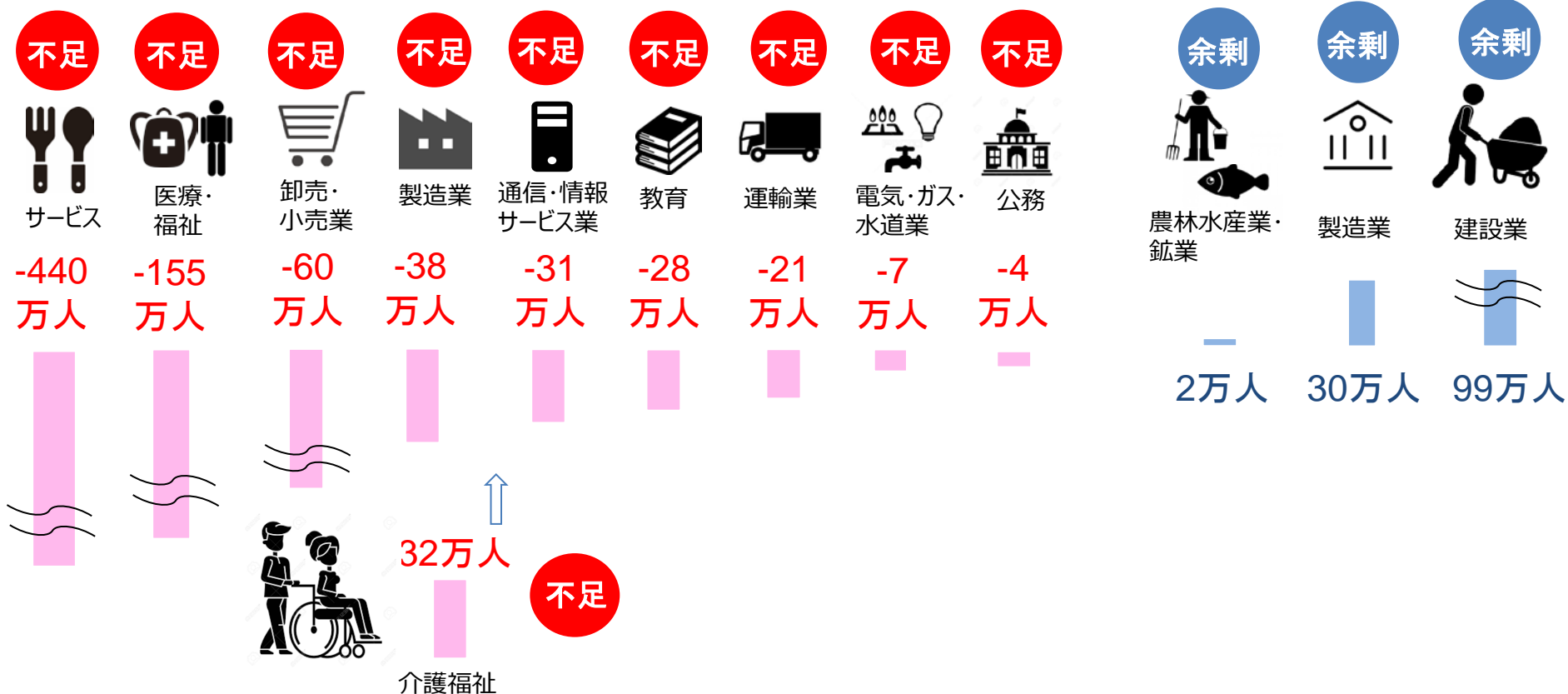
中国四国の県別人口減少率（過去5年間）

順位	県名	20年人口（万人）	減少率（%）
1	高知県	69	5.0
2	徳島県	71	4.8
3	山口県	134	4.4
4	愛媛県	133	3.6
5	鳥取県	55	3.4
6	島根県	67	3.3
7	香川県	95	2.6
8	岡山県	188	1.7
9	広島県	280	1.5

2030年に各産業で人手 が644万人足りなくなる？



産業需給ギャップ



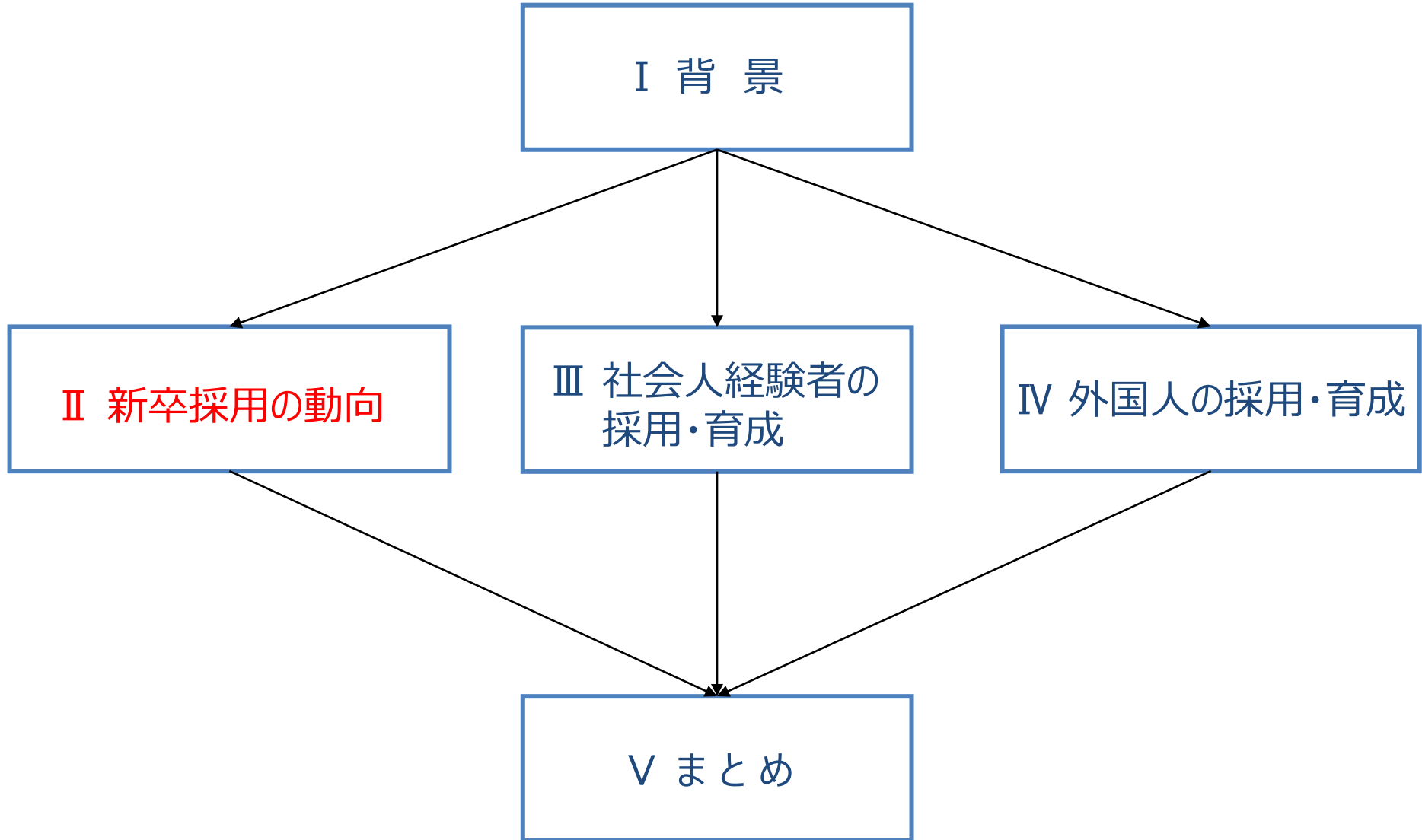
I 背景

II 新卒採用の動向

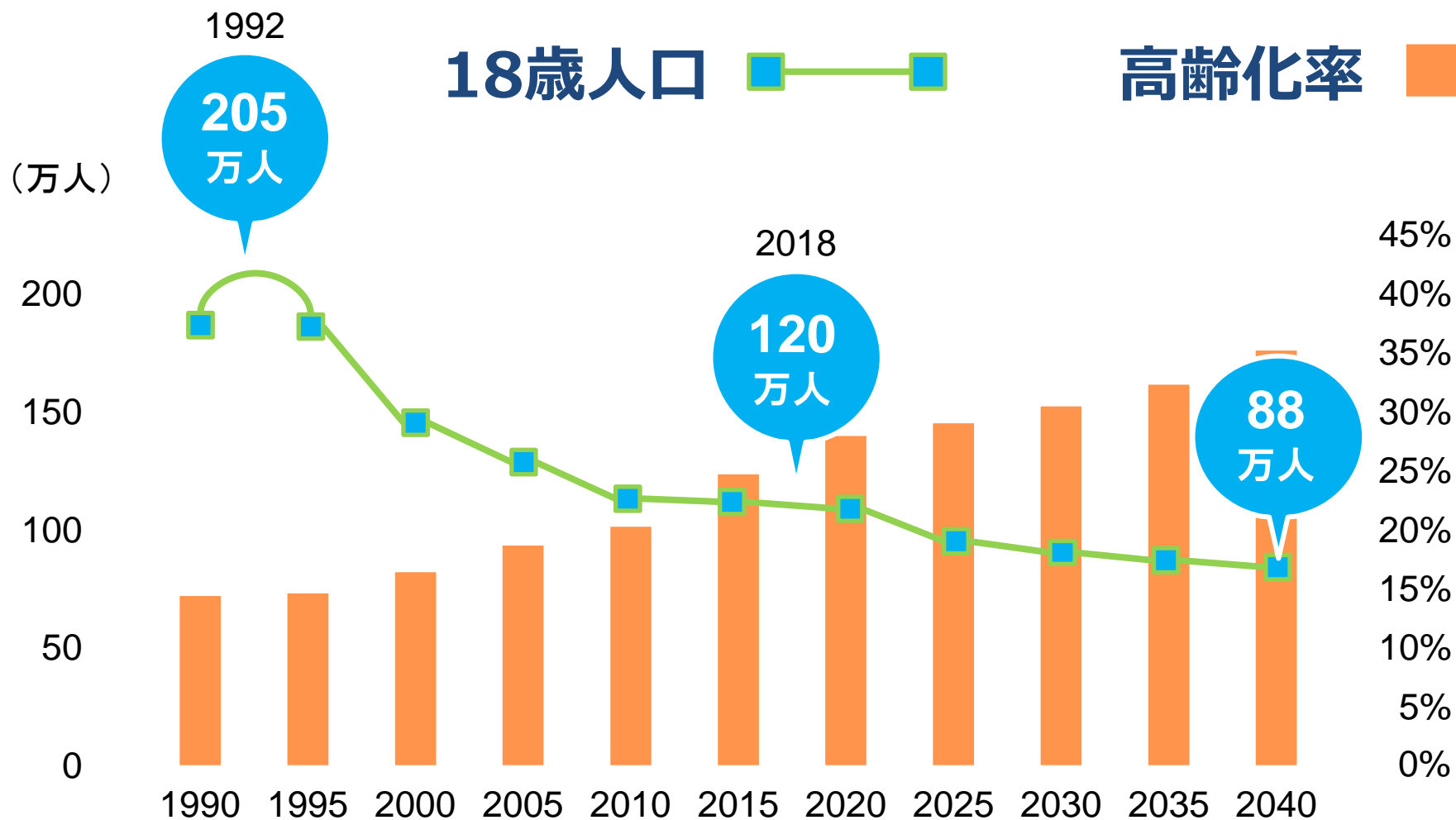
III 社会人経験者の
採用・育成

IV 外国人の採用・育成

V まとめ

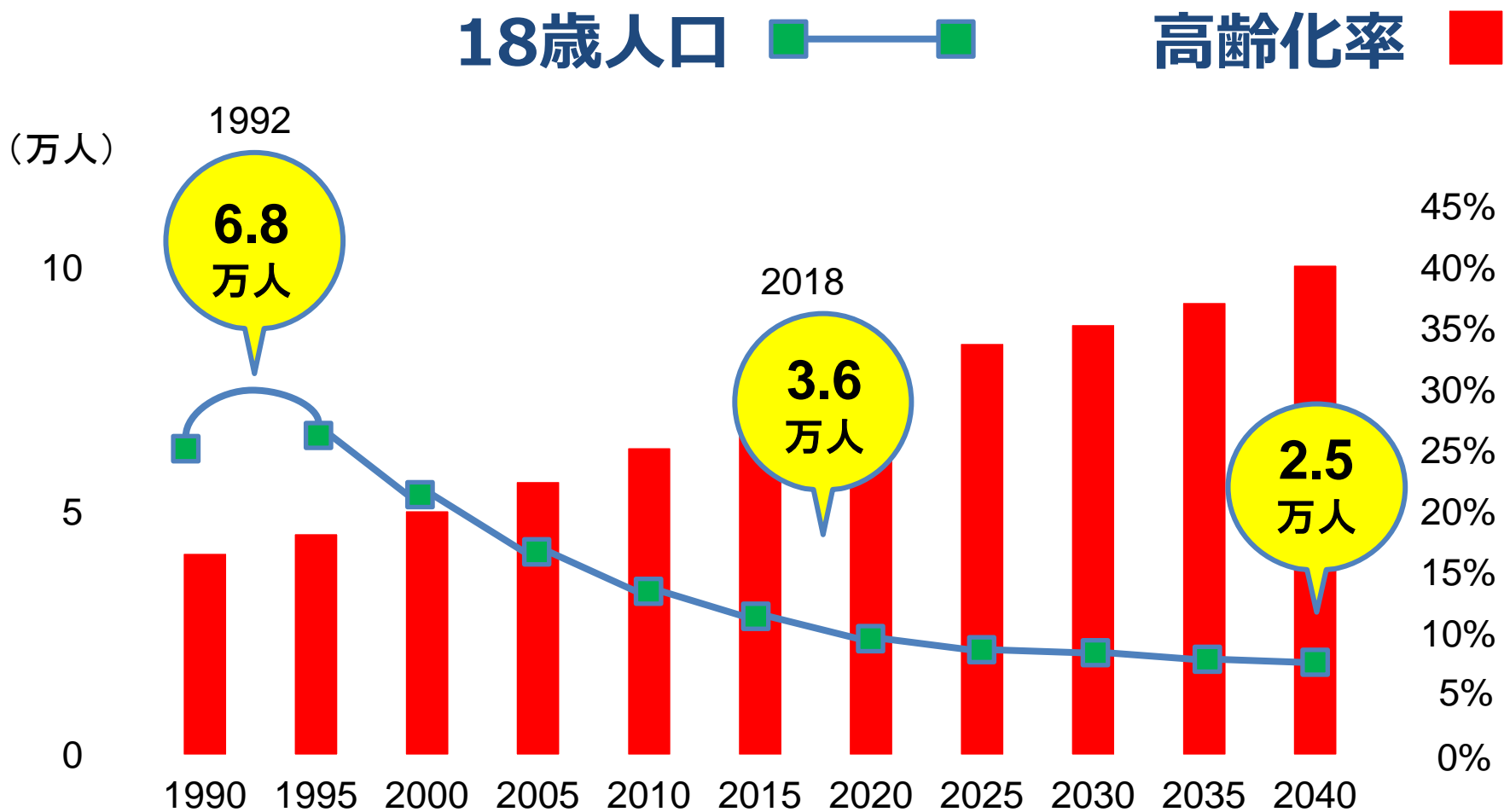


18歳人口と高齢化率の推移(全国)



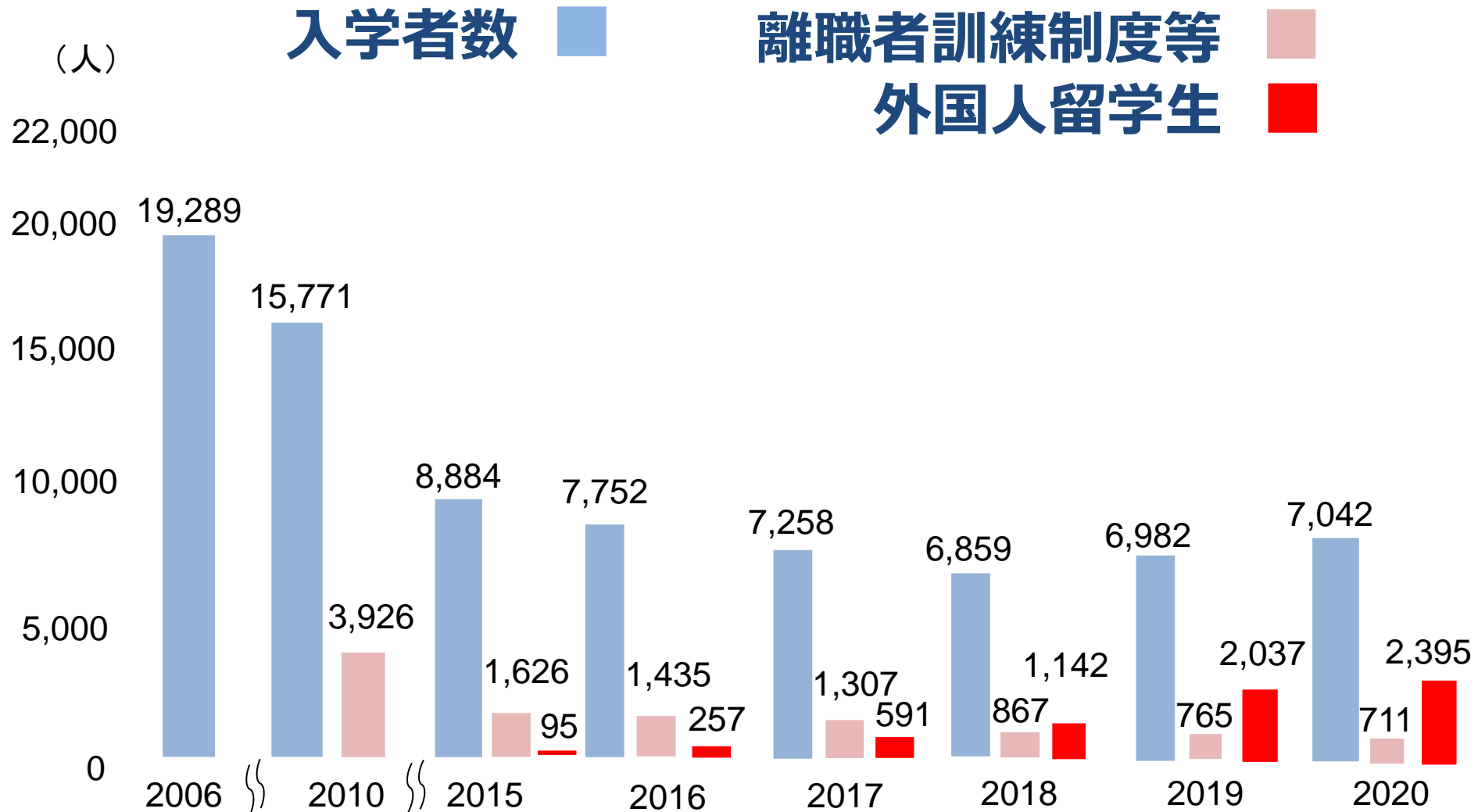
出所：文部科学省(2021)「学校基本調査」
国立社会保障研究所(2018)「日本の将来推計人口」を基に作成

18歳人口と高齢化率の推移(四国)



出所：文部科学省(2021)前掲
国立社会保障研究所(2018)前掲を基に作成

介護福祉士養成施設の入学者数内訳の推移



出所：介護福祉士養成施設協会(2020)

「令和2年度 介護福祉士養成施設の入学定員充足度状況に関する調査の結果について」を基に作成

新卒採用の動向

- 福祉介護職を新卒で採用することが難しくなっている

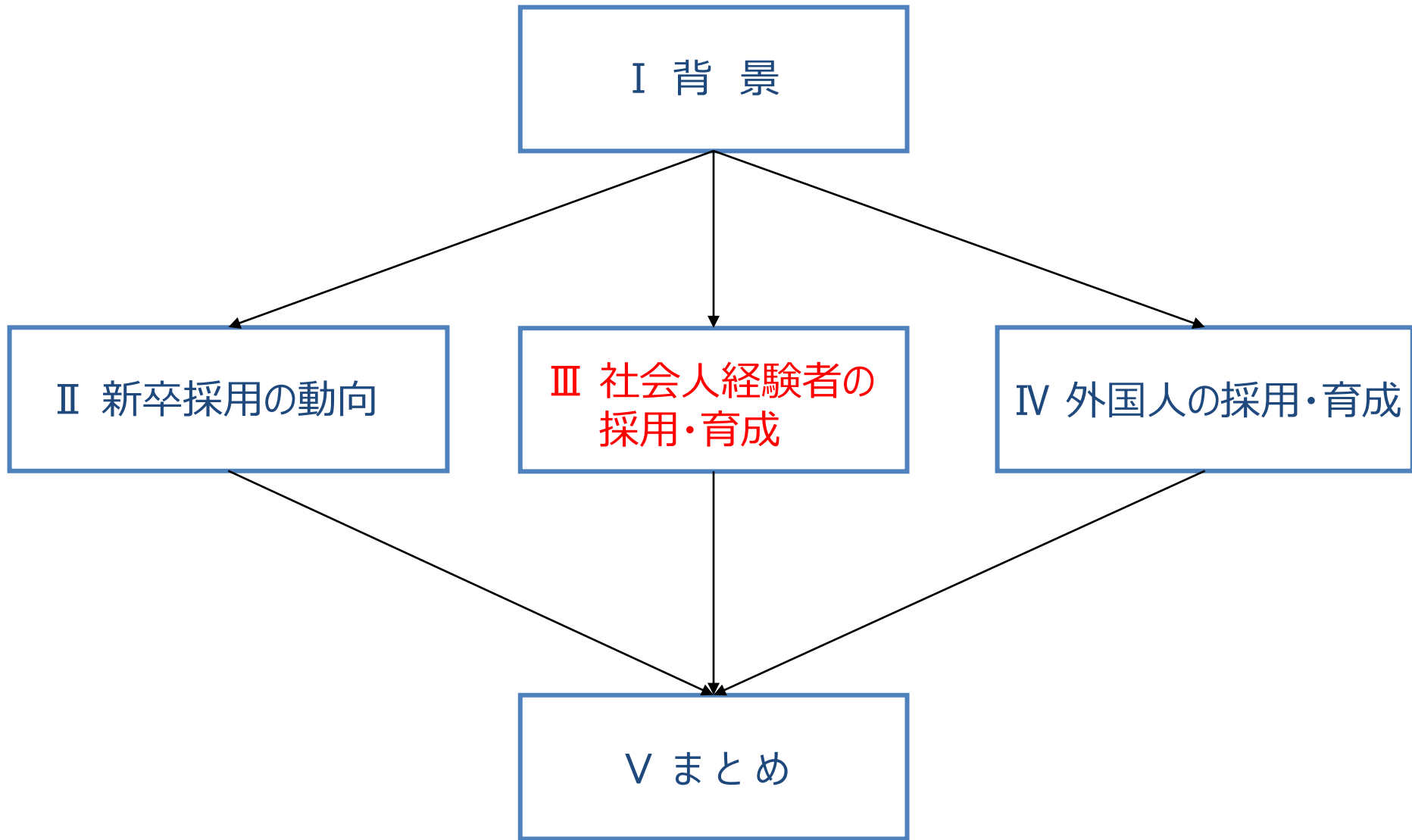
I 背景

II 新卒採用の動向

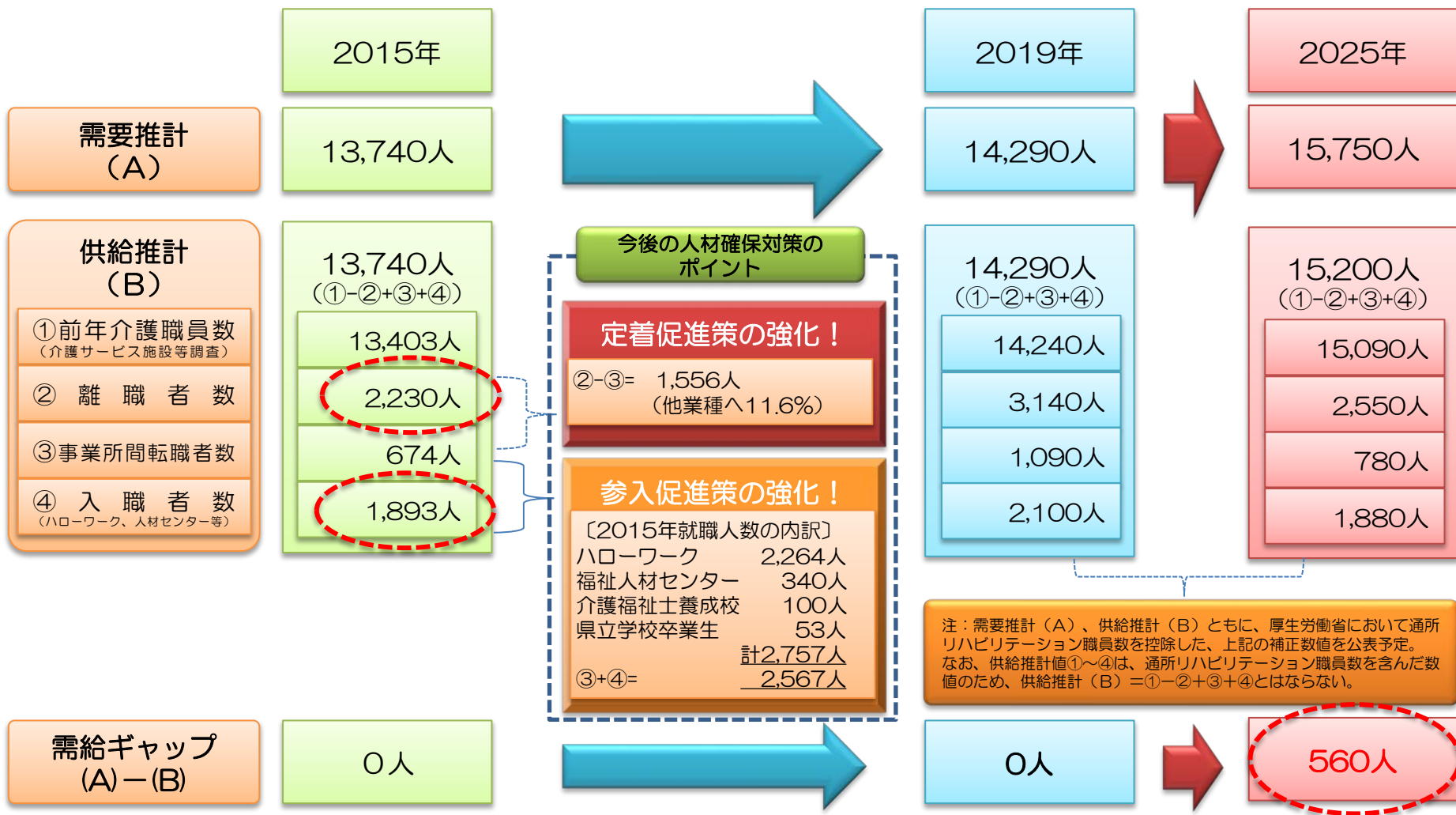
III 社会人経験者の
採用・育成

IV 外国人の採用・育成

V まとめ



高知県で必要となる福祉介護人材の需給推計



※常勤換算ではなく、従事する人数で推計

介護職員の離職率 (2020年全国調査)

	回答数	離職率 (%)	1年未満 (%)	1年以上 3年未満 (%)	3年以上 (%)
介護職員 (全国)	6,412	14.9	36.2	25.0	38.8
介護職員 (高知県)	56	13.2	34.3	32.3	33.3

出典：介護労働安定センター(2020)「令和元年度介護労働実態調査」

介護の仕事を辞めた理由

職場の人間関係に問題があった	23.9%
結婚・出産・妊娠・育児のため	19.9%
理念や運営のあり方に不満があった	17.2%
他に良い仕事や職場があった	16.9%
将来の見込が立たなかった	15.6%
収入が少なかった	15.0%

人材確保と定着に関する介護事業所の認識

採用が困難である	90.0%
定着率が低い	18.4%

社会人を経験した介護人材の特徴

- 介護業務に取り組む意識が高い
- 社会人経験の活用
- 省察の重要性

社会人経験者の採用・育成

- 社会人経験者に対する育成プログラムを構築

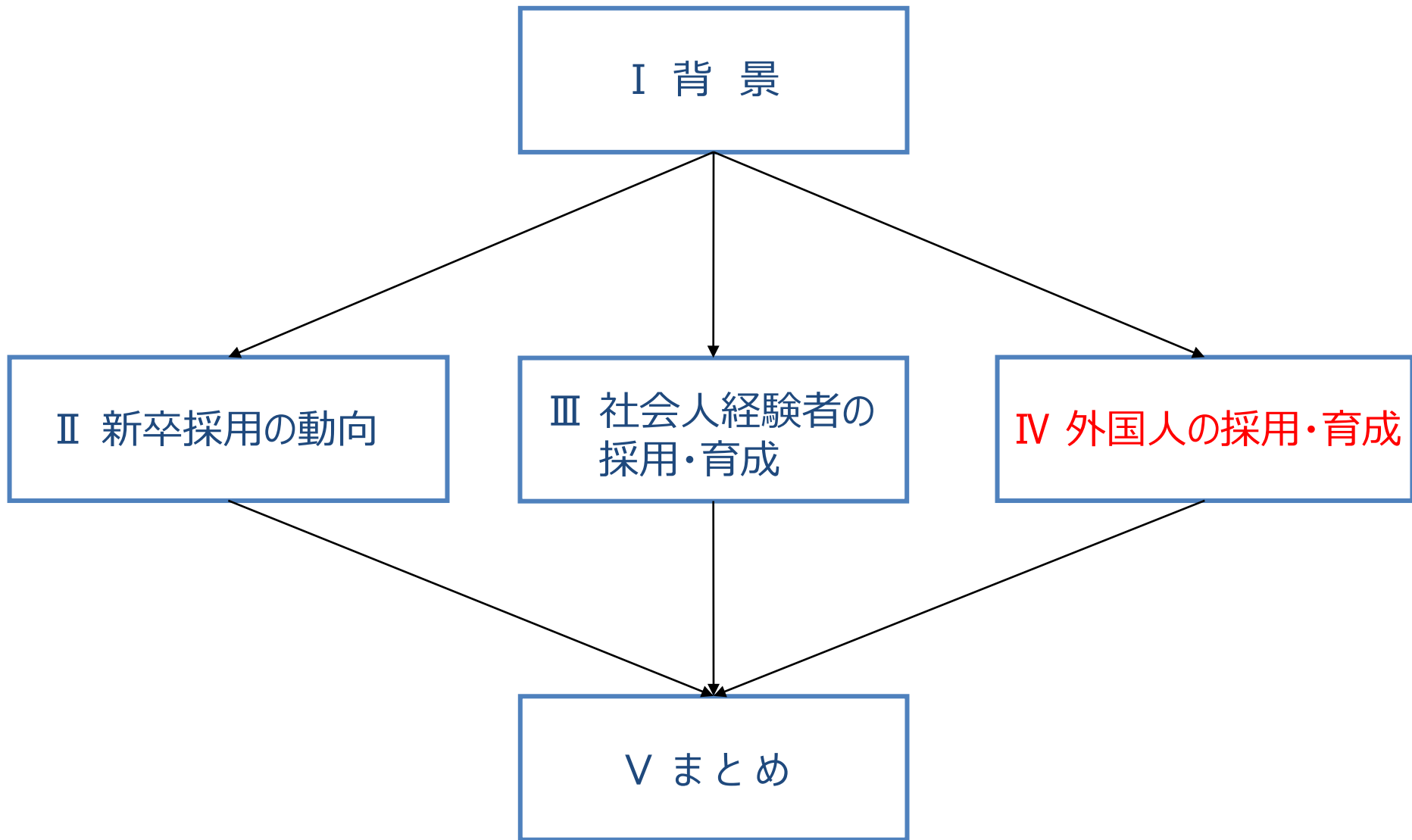
I 背景

II 新卒採用の動向

III 社会人経験者の
採用・育成

IV 外国人の採用・育成

V まとめ





EPA

留学生

特定
技能

技能
実習

EPA介護人材

1

2019年3月までに5,063人が入国
3,165名が雇用されている。

EPA

留学生

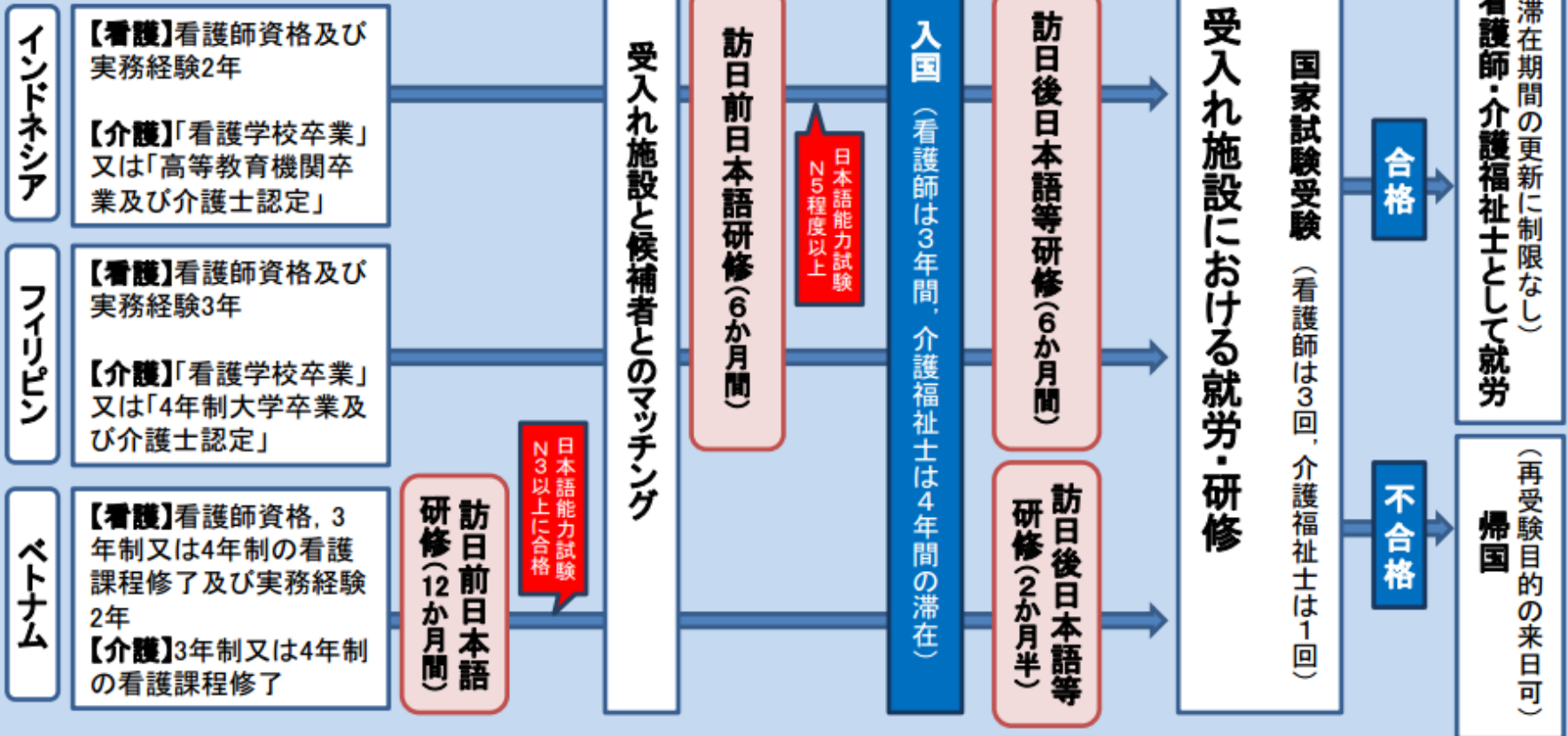
技能
実習

E P A (Economic Partnership Agreement)

- 様々な分野での協力の要素等,
経済関係の強化を目的とする協定
- 人の移動, 知的財産の保護や競争
政策におけるルール作り

EPA介護福祉士候補者の受入れ概要

受入れの流れ



※ 日本語能力試験N2以上の候補者は日本語研修を免除。
 ※ フィリピン及びベトナムにおいては、上記の他に就学コースがある(フィリピンは、2011年度以降受入れ実績なし)。

EPA介護人材の受入実績表

		フィリピン	インドネシア	ベトナム
2008年	介護（就労）	—	104名（53施設）	—
2009年	介護（就労）	190名（92施設）	189名（85施設）	—
	介護（就学）	27名（6施設）	—	—
2010年	介護（就労）	72名（34施設）	77名（34施設）	—
	介護（就学）	10名（6施設）	—	—
2011年	介護（就労）	61名（33施設）	58名（29施設）	—
2012年	介護（就労）	73名（35施設）	72名（32施設）	—
2013年	介護（就労）	87名（37施設）	108名（42施設）	—
2014年	介護（就労）	147名（64施設）	146名（61施設）	117名（62施設）
2015年	介護（就労）	218名（89施設）	212名（85施設）	138名（58施設）
2016年	介護（就労）	276名（116施設）	233名（86施設）	162名（78施設）
2017年	介護（就労）	276名（141施設）	295名（123施設）	181名（78施設）
2018年	介護（就労）	282名（149施設）	298名（127施設）	193名（87施設）
2019年	介護（就労）	285名（177施設）	300名（173施設）	176名（86施設）
累計	介護（就労）	1,967名	2,092名	967名
	介護（就学）	37名	—	—
合 計		5,063名		

出典：国際厚生事業団(2019)「EPAに基づく外国人看護師・介護福祉士候補者受け入れパンフレット」

EPA介護人材の国家試験合格数率の推移

			第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	第33回
全受験者（日本人含む）			64.6%	61.0%	57.6%	72.1%	70.8%	73.7%	69.9%	71.0%
EPA 候補者	全体	合格率	36.3%	44.8%	50.9%	49.8%	50.7%	46.0%	44.5%	46.2%
		合格者数	78人	78人	82人	104人	213人	266人	337人	440人
	初受験者	合格率	54.1%	53.8%	57.9%	54.2%	55.4%	50.8%	49.9%	53.0%
		合格者数	66人	57人	70人	90人	191人	236人	286人	350人
	再受験者	合格率	12.9%	30.9%	30.0%	32.6%	29.3%	26.5%	27.6%	30.8%
		合格者数	12人	21人	12人	14人	22人	30人	51人	90人

		第32回（2020年度）			第33回（2021年度）		
		受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
インドネシア	合計	293人	107人	36.5%	400人	146人	36.5%
	初受験	209人	82人	39.2%	268人	110人	41.0%
	再受験	84人	25人	29.8%	132人	36人	27.3%
フィリピン	合計	313人	92人	29.4%	375人	130人	34.7%
	初受験	223人	74人	33.2%	224人	83人	37.1%
	再受験	90人	18人	20.0%	151人	47人	31.1%
ベトナム	合計	152人	138人	90.8%	178人	164人	92.1%
	初受験	141人	130人	92.2%	169人	157人	92.9%
	再受験	11人	8人	72.7%	9人	7人	77.8%
EPA 合計		758人	337人	44.5%	953人	440人	46.2%

出典：厚生労働省(2021b)「第33回介護福祉士国家試験におけるEPA介護福祉士候補者の試験結果」

EPA介護福祉士候補者の「経験」と「学び」①

第1段階 介護現場に入る時期

先進的知識・技術を母国に伝える

E-2
日本に行きたかった。福祉用具とかたくさんあって、介護保険は日本がEstablish。フィリピンの場合はそんな保険とかはない

責-3
将来的には、母国で介護の指導者になろうと考えているようです。

言語の理解が困難

E-4
最初はすごく苦労して、泣いて自分で説明したいとか、言いたいこともあるけれどなかなか言葉がでないから泣いて。

責-5
来日前は日本語学校でしっかり勉強されてきているのですが、いざ実際に80、90歳の高齢者の方が使っている言葉だと、生の言葉は違いすぎるので、最初の1ヶ月、2ヶ月は何を言っているか分からないです。

覚えることが多いので大変

E-2
最初はとても大変でした。沢山仕事を覚えなといけないし。

責-2
候補者は覚えることが多く、疲れもたまると思います。

非言語情報から学ぶ

E-4
最初はジェスチャーでコミュニケーションできた。

責-5
施設の行事への参加によって、コミュニケーション力を向上させるところでは非常に役立っているのではないかと思います。

基本的な日常会話から段階的に学ぶ

E-2
利用者さんの言葉を聞き取れることはできますが、自分の日本語に自信がないので、利用者さんのところへ行くのに不安があって

責-3
日本語は話す、聞く、それから書く、読むをどのようにして身につけるか。

利用者からコミュニケーションを学ぶ

E-9
最初の1カ月間は、毎日6時間、利用者さんたちと話ししながら、現場で介護をみていました

責-5
塗り絵をされている利用者さんがちょうど正月の羽子板の絵を塗っていて「これ知ってる」と言って教えているのですよ。「正月は、これで遊ぶんじゃない」と言って、その時点で外国人というのは分かっているから、日本のことをいろいろ教えているんです。最初は、話題を提供できるようになるのはなかなか難しいとは思いますが、聞いてくれるだけでもだいぶ利用者さんはストレス発散にもなるし、逆に研修生としての立場でも利用者さんの話を聞いていたらコミュニケーションのスキルが上がってくるんですよ。

EPA介護福祉士候補者の「経験」と「学び」②

第2段階 介護現場になじむ時期

利用者の気持ちを大切にしたい

E-4
利用者さんの気持ちを大切にすることです。そのために、言葉の理解とかが、大事だと思います。

利用者の利益がやりがいになる

E-1
入浴が終わったとき、「ああ気持ちよくなった」と言ってくれる利用者さんの言葉が何よりの励みでした。

母国にはない知識・技術を実践で理解する

E-8
病気の方はすぐ亡くなってしまいますので、インドネシアにはまだいない。だから、実際は分からない。それがわかるということがありますね。

経験を活用した学びの方法

E-4
看護師として働いていましたが、日本に来てからもう一度、一から介護の勉強をしました

責-3
利用者さまの気持ちを大切にしたいのですが、言葉が大きな障害になっていたことは事実です。でも、利用者さまのことをわかりたい。その気持ちが成長につながったのではないのでしょうか。

責-4
利用者さまの信頼が厚くて頼りにされる存在です。とても丁寧で親切な対応が信頼関係へとつながっていったように思います。

責-7
認知症は高齢まで生きられないということがあって、なかなかイメージができないということも聞きましたので、本と実際を関連させて説明をしました。

責-1
介護という言葉あまり知らないんです。中身も。だから来てから、「あ、こういうものか」ということなので。案外ゼロから始めるから、言われたことは言われた通りするし。

EPA介護福祉士候補者の「経験」と「学び」③

第2段階 介護現場になじむ時期

経験に応じて介護技術を身につけるプロセスが違おう

E-2

施設のサポートもとても大事です。私もそうですが、介護の仕事の経験がない候補者は、サポートがいると思います。

責-7

看護師の経験があるので、視点の違いがありました。たとえば、ADLを重視したり、医療行為をしたり、自国では禁止されていないので、その都度説明する必要がありました。

体験しながら介護技術を学ぶ

E-9

介護技術を見学で学べることは、とても役に立ちました。

責-3

言葉だけの説明では、理解が難しい傾向もありますので、実際に、直接見て、体験しながら理解してもらっています。

根拠を振り返りながら介護技術を学ぶ

E-4

毎日、日常生活支援するときは、全てのアクションの内容が分かるまで勉強しました。例えば、利用者さんに食事介助をするときに、介護福祉士は健側に座ります。それは何故ですか。お風呂と脱衣室の温度差を小さくするのは何のためですか。もし、全てのアクションの理由が分かれば、わかりやすいです。

責-3

介護の根拠を基に目的・物品・手順・留意点を確認しました。

EPA介護福祉士候補者の「経験」と「学び」④

第3段階 モチベーション維持期

人間関係での ストレス

E-6
私のフロアは日本人
があまり動きません。
私がいたら私に任す。
ナースコールが鳴って
も。それが、知らん顔
みたい。ストレスに
なりますね。

モチベーション 維持の課題

E-3
苦労したことは、やる
気を維持できるかどう
かでした。

責-7
2年目から3年目まで
は、モチベーションの
維持が課題となりました。

言葉の意味 を学ぶ

E-4
2年きたらちゃんと
本気のコミュニケー
ションができて
とか、言葉だけでは
なく、言葉の本
当の意味が分か
ってきたときから
です。

責-9
介護記録などを見
ると、書く、読むと
いうことが課題と
感じました。いろ
んな言葉の意味を
理解していくには、
引き続きサポート
が必要だと思って
います。

目標を振り返り 自信をもつ

E-3
小さい目標から始めて
いくと、少しずつできる
ようになっていきます。
次の目標へ進むことが
できるようになるとでき
ることが増えていきま
す。

責-9
定期的に、成長を確認
し合うことは、指導にと
っても、候補者にとっ
ても良かったのではな
いかと思います。

EPAの先輩・後輩 の体験を共有する

E-6
みんなの気持ちは頑張る
というのがあるから。先
輩ができてなんで私がで
きないのか。このモチベ
ーションがあると思う。

責-6
先輩の体験談とかを話し
させるようにしています。
悪口も良くきくのですが。
介護に対する思いが伝わ
ると、モチベーションがあ
がって、すごくがんばって
くれます。

専門用語の 理解が困難

E-6
悩んだことは、専門用
語が難しくて分からな
かったことです。

責-7
専門用語については、
大変苦労しました。

責-2
指導者によって話す
言葉が違ったり、指導
の方法が違ったりす
るなどした結果、候補
者が混乱をきたす
という事態が起こりま
した。

EPA介護福祉士候補者の「経験」と「学び」⑤

第4段階 国家試験受験年度期

資格取得後の
キャリアを描く

E-10
今すぐではありませんが、ケアマネジャーの仕事がしたいと目標があります。

責-3
試験に合格したら介護現場のリーダーになります。

利用者へのよりよい
ケアを考える

E-3
私は、人が介護する気持ちは誰の心にもあると思っています。そして、私たちの仕事は、どうすればよいケアができるのか、その方法を考えて、介護をしていくことが大切だと考えています。

責-5
利用者さんのことをずっと見てきてこの人はこういう人という理解があったから、人に合わせた距離感がちゃんと自分で考えられているのだと思います。

介護福祉士の資
格を取得する

E-10
一番は、日本でいろんなことをもっと勉強したい、しかし合格しないと帰国することになりますので、合格しないといけないということがあります。もっと深く介護について学び、仕事に生かしていきたいと思っています。

責-7
候補者は、国家試験に合格する、介護福祉士として働きたいという強い思いが一番大切で大きな力になっているのではないかと思います。

EPA介護福祉士候補者の「経験」と「学び」⑥

第5段階 国家試験合格後

日本人と同等の
役割を求められる

生活上の新たな課題

資格取得後も
日本語や介護
の勉強が必要

将来のキャリアを描く

介-5
記録とかケアプランとか
もちろん100%できないじ
ゃないですか、日本語で
すから。

介-8
(子どもの日本語学習で
)人数少ないのでサポー
ト入れない、「余分には」
というも言われて

仕事も見つかりませんで
した、で、友達の旦那さ
んはもう帰ると。

介-3
いろいろな会議があり
ます。報告とか、会議
のときに何にすればい
いのか、ということがあ
りますので、私はこれ
を実際にやりました。

介-2
今後の目標？ ケアマネージャー
になっていきたい。

介-2
私はフィリピンで看護師なので、
そしたら今も日本に看護師なりた
いです。

責-5
職員に対しても利用者
さんの家族に対してもす
るがですけど、やっぱり
ちょっとそこをクリアして
いかんと。でも、そこはや
っぱり日本語なので。

責-8
呼んだあとのご主人の就
労先とか、子供さんいると
きは保育園とか。

責-3
今はもう合格したあと、
合格するのは当たり前
になってて、合格したあ
とをどうしていくかって
いう、そこですよ。

責-3
次は看護師、やっぱりだいたい言
っているのですよ。

介護福祉士養成施設の留学生

2

2020年3月まで6,517人が入国

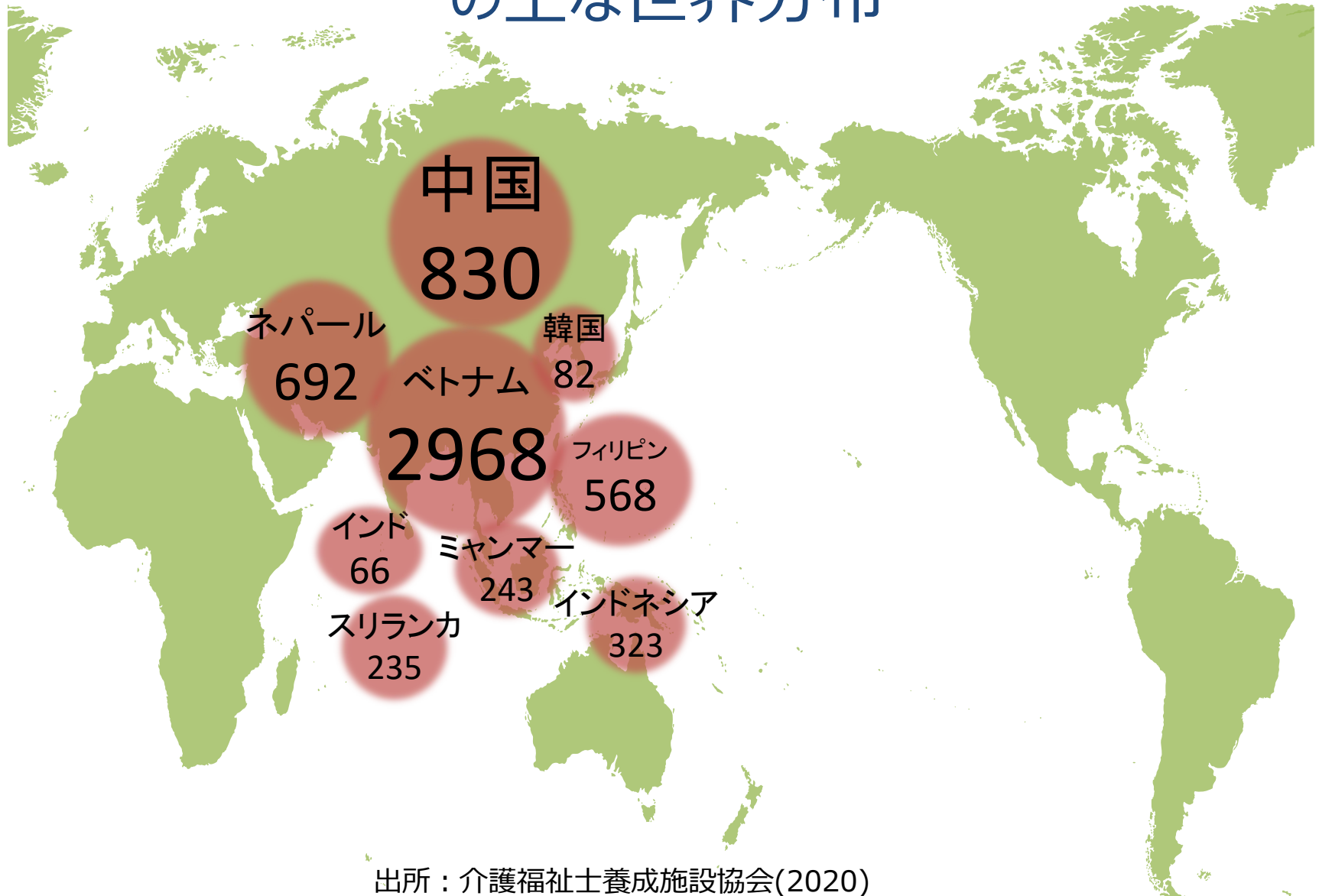
留学生

技能
実習

EPA

介護福祉士養成施設留学生 の主な世界分布

単位：人



出所：介護福祉士養成施設協会(2020)

「令和2年度 介護福祉士養成施設の入学定員充足度状況に関する調査の結果について」を基に作成

技能実習（介護 2017.11～）

986人分申請の472人の認定がでている。

来日者は247人

今後5年間で5~6万人の受入を見込む

（2018年12月：東京新聞）

技能
実習

特定
技能

留学生

特定技能（2019.4～）

113人が受験し、84人が合格
今後5年間で6万人の受入を見込む
（2019年5月：日本経済新聞）

4

特定
技能

EPA

留学生

外国人介護職員を雇用できる制度の概要

介護福祉士の資格

期間

母国での経験

受入機関

日本語水準

- 1 EPA
- 2 留学生
- 3 技能実習
- 4 特定技能

なし 受験は可	資格取得後は永続可 <small>一定期間に資格が取得できなければ帰国</small>	看護学校卒業 or 高等教育機関卒業後政府認定	国際厚生事業団	N3程度
介護福祉士	永続可	問わない	なし	なし N2以上が望ましい
なし 受験は可	最長5年 <small>介護福祉士を取得すれば永続可</small>	問わない	あり 監理団体	N4程度
なし 受験は可	最長5年 <small>介護福祉士を取得すれば永続可</small>	問わない	あり 登録支援機関	なし <small>技能・日本語能力水準を試験等で確認</small>

出典：国際厚生事業団(2019)「EPAに基づく外国人看護師・介護福祉士候補者受け入れパンフレット」、厚生労働省ホームページ「外国人技能実習制度について」、介護福祉士養成施設協会ホームページを基に作成

800人/年？

EPA

1,000人/年？

留学生

2025年度までに
年間**60,000**人程度
の介護人材が必要
(厚生労働省 2018)

12,000人/年？

特定
技能

技能
実習

10,000人/年？

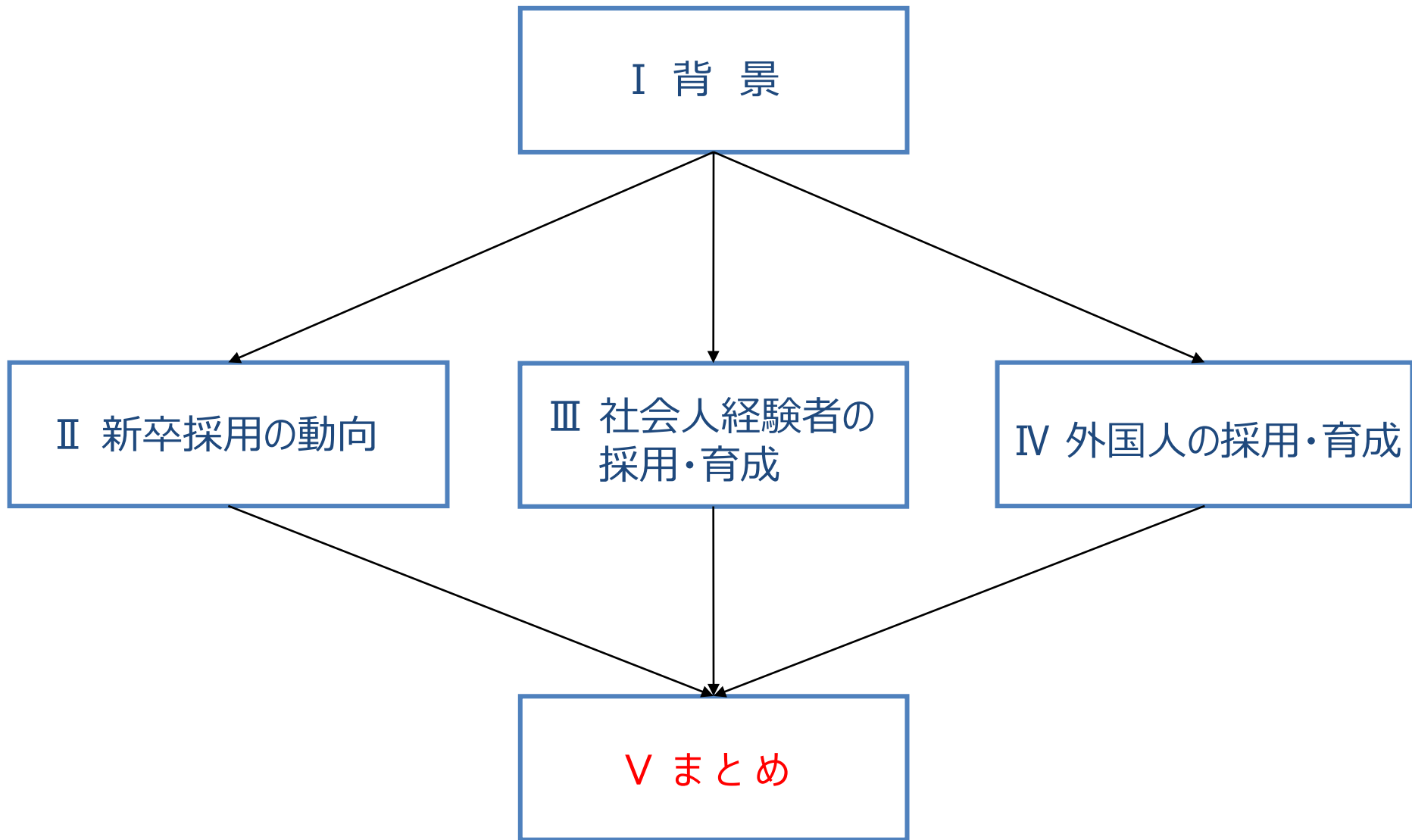
I 背景

II 新卒採用の動向

III 社会人経験者の
採用・育成

IV 外国人の採用・育成

V まとめ



まとめ

○採用と育成の関連性

- ・採用を目標にしない→成長・定着できる職場環境が目標化
- ・多様な人材に対応する職員育成環境が必要

○現場リーダー等の人材マネジメント能力の向上

- ・介護現場のリーダーはケアへのマネジメントは得意としつつも、職員育成マネジメントへの困難を認識
- ・経営者のサポートも必須

○根本的な課題となる処遇

参考引用文献-1

外務省(2021)「我が国の経済連携協定(EPA/FTA)等の取組」

(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/fta/index.html>,2022.01.17)

介護労働安定センター(2020)「令和元年度 介護労働実態調査」

(http://www.kaigo-center.or.jp/report/2020r02_t_chousa_02.html,2021.5.15).

高知県(2021)「高知県高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業支援計画」

(https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/060201/files/2015082100034/file_2021523016757_1.pdf,2022.01.17)

河内康文(2021)「経済連携協定(EPA)介護人材をめぐる介護現場での経験の様相」『社会福祉学』61(4), 100-113.

国立社会保障・人口問題研究所(2018)「日本の将来推計人口」

(https://www.ipss.go.jp/pp-zenkoku/j/zenkoku2017/pp_zenkoku2017.asp,2022.01.18).

国際厚生事業団(2014)「経済連携協定に看護師・介護福祉士候補者受入れ概要」

(<https://jamcf.jp/pdf/2014/1404EPA.pdf>,2022.01.18)

国際厚生事業団(2019)「EPAに基づく外国人看護師・介護福祉士候補者受け入れパンフレット」

(https://jicwels.or.jp/files/EPA_2019_pamph_r.pdf,2019.07.05)

厚生労働省(2018)「福祉・介護人材の確保に向けた取組みについて」

(<https://www.mhlw.go.jp/content/12201000/000363270.pdf>,2022.01.18)

厚生労働省(2019)「外国人技能実習制度について」

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/global_cooperation/index.html,2019.07.05)

参考引用文献-2

厚生労働省(2021a)「第8期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について」

(https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000207323_00005.html,2021.12.28)

厚生労働省(2021b)「第33回介護福祉士国家試験におけるE P A介護福祉士候補者の試験結果」

(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_17654.html,2022.01.21)

宮上多加子(2012)「離職者を対象とした介護福祉士養成教育における社会人学生の認識—学びの経験に関する個別面接調査に基づく分析—」『介護福祉教育』17(2),98-106.

宮上多加子・河内康文(2012)「離職者を対象とした介護福祉士養成事業における社会人学生の経験—離職者訓練生と介護雇用プログラム生の比較—」『中国・四国社会福祉研究』1,22-32.

宮上多加子・田中眞希(2013)「介護福祉士養成教育における社会人学生の学びのプロセス—離職者訓練生と介護雇用プログラム生の学年による変化—」『中国・四国社会福祉研究』2,13-29.

宮上多加子・田中眞希(2014)「離職者を対象とした介護福祉士養成事業修了生の介護に対する認識と仕事の信念」『高知県立大学紀要社会福祉学部編』63,153-163.

宮上多加子・田中眞希(2015)「介護雇用プログラム生の学びと仕事に対する思い—面接調査による3年間の変化の分析—」『高知県立大学紀要社会福祉学部編』64,1-16.

宮上多加子・田中眞希(2018)「介護福祉士および准看護師の経験による学びと『仕事の信念』に関する研究」『高知県立大学紀要社会福祉学部編』67,1-16.

文部科学省(2021)「学校基礎調査」

(https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm ,2022.01.18).

参考引用文献-3

日本介護福祉士養成施設協会(2011)『介護福祉士資格取得のための離職者訓練制度及び介護雇用プログラムに関する調査報告書—介護福祉士養成教育の新しい試み』

日本介護福祉士養成施設協会(2014)『離職者訓練制度を活用した平成23年3月修了生の就職先における職業能力評価に関する調査報告書—介護福祉士と職業能力』

日本介護福祉士養成施設協会(2012)『離職者訓練制度を活用して平成23年3月に卒業した訓練生の進路及び就職状況に関する調査報告書—介護福祉士養成施設が担う離職者教育の展開』

日本介護福祉士養成施設協会(2020)「令和2年度 介護福祉士養成施設の入学定員充足度状況に関する調査の結果について」

(<http://kaiyokyo.net/news/2020/000772/>,2020.11.17)

日本経済新聞(2019)「特定技能『介護』、84人が合格 今夏にも就労 (2019.5.24)」

(<http://www.tokyonp.co.jp/article/politics/list/201812/CK2018120202000140.html>,2022.01.18)

日本経済新聞電子版(2021)「総人口1億2614万人に、5年で94万人減 20年国勢調査 (2021.11.30)」

(<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA29AND0Z21C21A1000000/>,2021.12.28)

パーソナル総合研究所(2018)「労働市場の未来推計2030」

(<https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/spe/roudou2030/>,2022.01.17).

総務省(2021)「人口推計」

(<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>,2021.12.28)

東京新聞(2018)「介護来日247人止まり 日本語能力要件が壁に (2018.12.02)」

(<http://www.tokyonp.co.jp/article/politics/list/201812/CK2018120202000140.html>,2019.07.03)